

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2020年 12月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2020年 12月1日発行 通巻332号

年末・年始を無事故で
新しい年を迎えよう

1 2月号目次

・ 目 次	2
・ 1 1月理事会報告	3
・ 県連交流山行報告 かがりび山の会	6
・ 〃 東葛山の会	1 0
・ 〃 ちば山の会	1 1
・ 〃 千葉こまくさハイキングクラブ	1 2
・ 事故防止交流集会報告	1 3
・ 会山行報告 岳人あびこ	1 6
・ 〃 まつど山翠会遠足クラブ1年さくら	1 7
・ 第3 4回房総ロングハイク案内	1 9
・ 1 2月・1月予定表	2 0

表 紙 説 明

パキスタン・デオサイ高原のお花畑で、ケシ・マンテマの仲間かと思えます。

2 0 1 1年7月、バルトロ氷河トレッキングのおまけで行ったデオサイ高原はとてつもなく広く、地元の人チベット高原より広いと自慢していた。

(チベット高原に行った事がないので、うそとは言えなかった)

ただ、お花畑は広さ・花の種類・動物等は今まで見た中では最高のスケールだった。

バルトロ氷河は、インドとの国境にありトレッキングコースに沿ってトーチカが点在して数人の兵隊が常駐している。

ひとたび印パ紛争があればコースは閉鎖される。

あらためて平和の尊さを実感した日々であった。

1 1 月理事会報告

1、日時 2020年11月19日（木）19時～20時30分

2、場所 船橋市西部公民館 第4集会室

3、出席会 13会（欠席3会）

市川山の会、君津ケルン山の会、かがりび山の会、ちば山の会
千葉こまくさハイキングクラブ、東葛山の会、船橋勤労者山の会
ふわくハイキングサークル、松戸山の会、千葉民医連山を歩こう会
山の会「岳樺クラブ」、まつど山翠会、山の会らんたん

出席役員 古瀬顧問、広木会長、小林会計担当、菅井自然保護委員長
田中ハイキング委員長、伊東競争委員長

4、議題

(1)、委員会報告

①教育遭難委員会

- ・事故防止経験交流集会

11月7日（土）10時～17時 千葉県スポーツセンター

10会21名参加

②組織委員会

- ・新型コロナの影響調査アンケートの依頼

新型コロナが県連各会の活動にどれだけ影響したのか、またどう回復したのかを把握し、次年度の計画・活動の参考にする。

第1次（19年、1月～10月分）11月末期限 12月理事会で報告

第2次（11月、12月分）1月10日期限 1月理事会で報告予定

- ・中間報告 4会提出 波線2019年度分 実線2020年度分

コロナ感染拡大後山行数が減少、緊急事態宣言発出によりゼロ。解除後徐々に増加。秋になると昨年度とほぼ同じ水準まで回復。

- ・前回アンケート提出6会、今回まだ4会、全ての会に協力をお願いしたい。

③自然保護委員会

- ・全国自然保護集会 11月7日（土）～8日（日）千葉から1人参加
テーマは地球温暖化による環境破壊。

- ・クリーンハイク 各会で計画して実施してほしい。

千葉こまくさハイキングクラブ第4回花見川クリーンハイク実施。

11月4日（水）28名参加

可燃ごみ約170kg、不燃ごみ約70kg、合計約240kg

各会で計画して計画・実施して下さい。

④ハイキング委員会

- ・日帰りハイキング 房総の海岸線を歩く（浪花駅から御宿駅 自然歴史探訪）

1月30日（土） 浪花駅8時30分集合 御宿駅15時20分解散

11月8日（日）下見実施、変化に富んだ面白いコース。危険なところは特になし。
コロナ禍、参加者募集は各会で判断。

⑤第18回ふれあいハイキング実行委員会報告

- ・実施日 2021年5月23日(日)
- ・行先 千葉県鴨川市大山不動尊から大山千枚田
- ・集合場所・時刻 東葛方面 鎌ヶ谷市役所駐車場 7時30分
千葉方面 千葉駅N.T.T前 8時30分
- ・交通機関 大型観光バス3台(2台(1台車いす用)千葉発 1台 鎌ヶ谷発)
- ・参加費 未定
- ・募集人数 障害者 30数名 県連 70名～100名
- ・コース (略)
- ・11月1日(日)下見実施 5名(障害者2名、県連3名)参加
(検討事項)
- ・コロナ禍ではバスの乗車人数は定員の半分。必要なバス台数と参加費の確定。
- ・障害者に安全に楽しんでもらうための必要なサポート人数の参加をお願いする。
- ・会員の友人・知人からの推薦による障害者とサポーターを募集する。
- ・参加費を補填するための広範囲な寄付の募集。

(2)、2021年度活動について

①総会を隔年で実施し、その間に会代表者・理事合同会議を実施している。

- ・今回は、コロナ禍で実施困難なので、今年度定時総会同様メールで実施する。
(内容)・基本的活動の訂正・追加等の提案と会計報告・予算案の提案
- ・議案書 20年度初めて外注したし総会代議員分は印刷して郵送した。
21年度は、可能なところはメール配信し、一部印刷も残す。

②委員会関連

- ・教遭委員会主催の事故防止交流集会のみ実施。他委員会は実施できず。
- ・21年度の活動をどうするか。12月役員会で集約、12月理事会に提案。
- ・自然保護活動 労山・県連活動の理解と自然保護運動に対する意識・関心を高めるために県連全体の行事として実施を検討する。

③会計について

- ・活動自粛の影響で残った予算は次期繰り越し、次年度予算とは別枠で管理する。
- ・予算の大幅な見直しはしない。
- ・会計項目を見直し整理する。(項目の分割・新設で分かりやすく。)

④理事会の運営

- ・時間を有効に使う為、事前に議題をメールで連絡し印刷して持参す。
内容を充実させるために、連絡事項以外の議題も用意。
- ・理事会のオンライン会議を検討する。関係者のオンライン環境整備と十分な意見交換が出来るかの問題がある。委員会など少人数の会議から取り組み始めてはどうか。
- ・司会は役員、議事録は理事が輪番。

⑤役員について

- ・理事長・事務局の選出が最重要。会と会代表者・理事の理解と協力で選出したい。
- ・役員選出・体制・仕事の分担等を、21年度中に検討委員会を立ち上げて検討する。
必要であれば、規約改正も視野に検討を進める。

(4)、その他

①コロナ感染者が出た場合のガイドラインの提示について

コロナ対策について、各会に通知する必要がある。役員会で論議して提示したい。

②連絡とお願い

- ・ 労山基金事務協力金が県連に入金されていたが、各会に入金される。
県連予算が約 75,000 円のマイナスとなる。
- ・ 基金更新時期が 2021 年 2 月です。事務手続きを期限内で完了して下さい。
- ・ 無事故報奨金が、事故防止に効果が無く廃止される。
- ・ 11 月末現在の男女別会員数の報告。次年度の連盟費の算出基礎となります。
報告後に変更の無いように、4 月以降の在籍数を確認して報告下さい。

(文責 市川山の会 松宮)

◆ 2021 年度 会代表者・県連理事合同会議について

千葉県連は、 定時総会を隔年で実施しています。その間に会代表者・県連理事の合同会議を実施しています。

2021 年度は 2 月に実施予定でしたが、コロナ感染防止のため中止とし第 34 回定時総会と同様に特別処置で実施します。

ご理解とご協力をお願いします。

1、予定議案

① 会計について

- ・ 2020 年度会計報告、会計監査報告
- ・ 2021 年度予算

② 活動について

- ・ 2020 年度は、コロナ感染防止のため事故防止交流集会だけの実施であった。
- ・ 2021 年度活動方針は定時総会（2020 年 2 月特別処置）で決定している。
従って、中止になった活動と次年度の予定活動をについて討議する。

③ 役員体制について

- ・ 2020 年度も、新役員の選出は出来なかった。
- ・ 2021 年度は、欠員役員の選出が最重要です。2022 年度に向けて役員選出の検討委員会（プロジェクトチーム？）を立ち上げて進める。
- ・ 新役員の選出がなぜ出来ないか、役員会の構成メンバー、任務分担等なども検討する。必要であれば、規約改正も視野に入れて進める。

2、スケジュール

- ・ 12 月中に議案まとめ→理事・会代表者にメール提案→意見集約→
→2 月理事会決定→各会に提案→集約→各会に結果報告
- ・ メールでのやり取りになりますが、ご協力をお願いします。

※ 意見・問合せは、千葉県連会長 広木までお願いします。

県連交流山行報告 筑波山

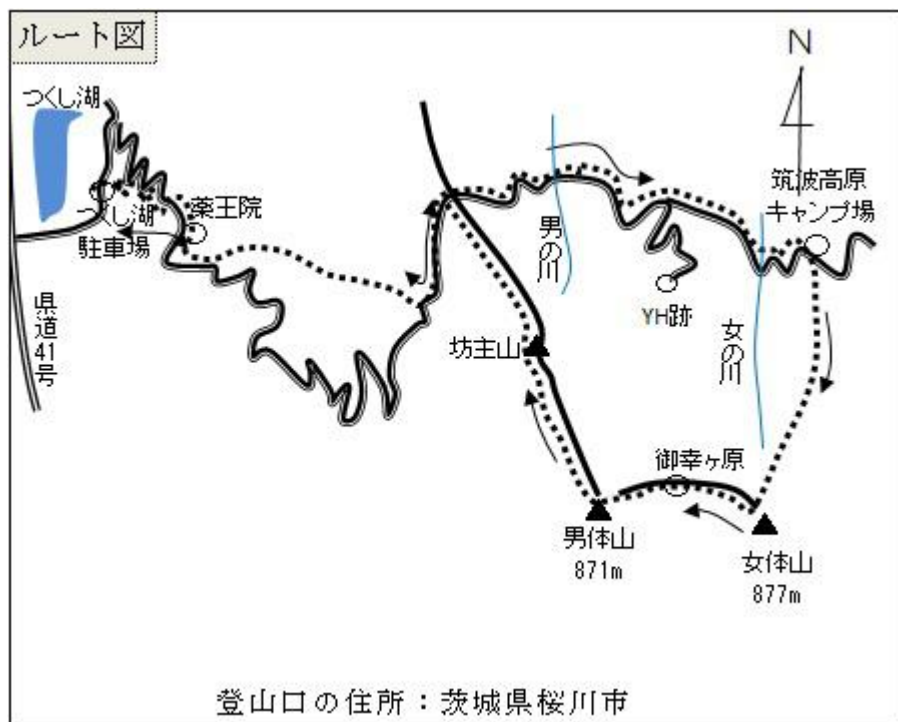
かがりび山の会 伊東春正、川口光雄

11月15日秋晴れの中、裏筑波を歩いてきた。

参加会：かがりび山の会、千葉こまくさハイキングクラブ、ちば山の会、東葛山の会、岳人あびこ、松戸山の会、山の会らんたん

参加者：29名

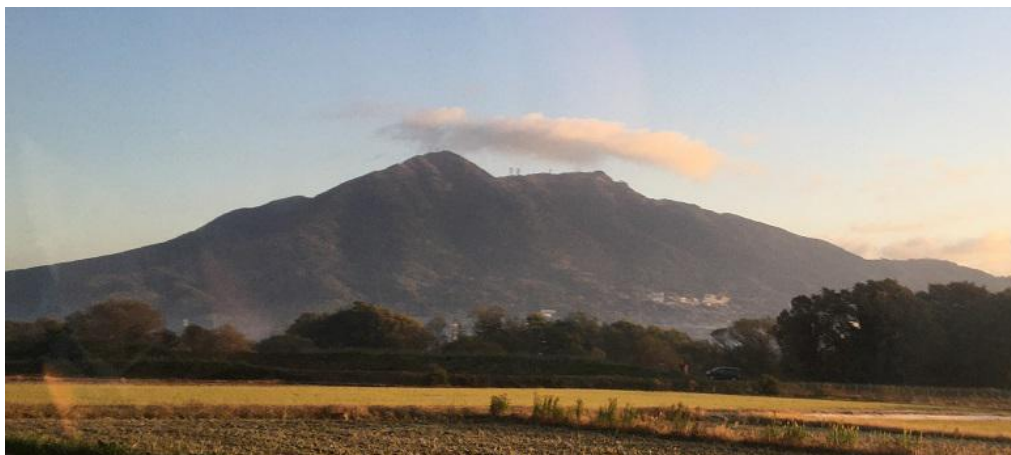
コース：



つくし湖 P7:50→8:10 薬王院→林道→10:00 つくば高原キャンプ場→11:15 女体山→11:45 御幸ヶ原(昼食)→12:55 男体山→13:35 坊主山→林道→15:10 薬王院→15:50 つくし湖 P 所要時間：8時間

工程：

つくし湖駐車場に向かう途中、双耳峰の筑波山が美しい。



駐車場は15台程度しか停められないが、そば処つくし亭のご好意により、裏の空き地を開放していただき、全車一か所に駐車することができ、予定通り出発した。



まず薬王院を見学、樹齢300年～500年といわれるスダジイ（椎の木）、県文化財の三重塔や仁王門が見事である。



林道歩きの途中の眺望では、燕山、加波山、丸山、足尾山の筑波連峰が一望できる。

男の川登山口、女の川登山口を経て、つくば高原キャンプ場に到着。
この時期のキャンプ場は閉鎖中で閑散としており、気兼ねなく集合写真が撮れた。



ここから女体山を目指して一気に登る。
静かな山歩きはここまでで、女体山～御幸ヶ原～男体山はいつも通りの人込みである。

参加者のお孫さんが幼稚園の遠足できており、女体山で一緒に写真を撮っていた。
御幸ヶ原で昼食とする。



昼食後、樹齢 800 年の紫峰杉（しほう）を見て、男体山に向かう
筑波山は、朝は藍、昼は緑、夕は紫に山肌が表情を変えることから、紫峰と呼ばれているとのこと。

男体山ではもやがかかって、富士山の遠望はかなわなかった。
ここから坊主山をめざして下山開始、急勾配な階段を経て、坊主山に到着。
眺望はないが、労山マークに似た三角形の岩の前で記念撮影をする。



下山途中の伐採跡の切り株に腰を下ろし、筑波連峰のパノラマは、ラストを飾る景観だった。



参加者に聞くと裏筑波は意外と歩いていない方が多く、今回のハイキング・コースに満足されたようである。

所感：

交流山行の主旨は、主催会が負担とならないよう、現地集合、現地解散で参加する会それぞれが山行計画書を作成した上で、一緒に山に登り交流を図るということであった。当初計画では、通常のルートはすでに登られていると思い、女の川を登って男の川を下る、ややバリエーション的なルートを設定して、各会に呼びかけた。

参加は、2,3の会で10人くらいだろうなと思っていたが、人数が膨れ上がり、しかも参加者の半分以上が70歳以上であるため、コース設定に不安を感じ伊東が下見を行った。結果、女の川の登りは急こう配で危険箇所があるため、ルート変更を検討、今度は変更ルートの時間見積のため、川口が下見をして時間設定をやり直した。結果、ほぼ計画どおりの山行ができ、2回の下見が功を奏した。

交流山行では、他の会の参加者のレベルがわからないため、ハイキングルートが無難であり、他の会でも、このような交流山行が行われることを期待する。

次回は、カタクリやニリンソウが咲き乱れる春に、女の川、男の川を企画したいが、技術的難易度を示し、参加者を絞る必要があろう。

最後に、参加者から嬉しい感想が寄せられているので紹介する。

『初めて知るルートで、「山を自由に楽しむってこうでなくては?」と強く思いました。』

天気に恵まれ参加者にも恵まれ 県連活性化目的の交流山行を成功裏に終えたことに感謝いたします。

” 継続は力なり ” です。続けていきましょう！

千葉県連交流山行『筑波山』に参加して

安彦 秀夫（東葛山の会）

全く個人的な感想（裏話）を披露します。

『交流山行』の案内見て直ぐ参加を決めました。

と言いますのは、裏筑波の『男の川』、『女の川』、『坊主山』と、未だ足を踏み入れたことのない場所を巡るコースが計画されていたからです。

東葛山の会として7名の参加希望者があり、本来であれば、車2台に分乗ということでしょうが、私は単独で現地に向かうことを了承してもらいました。駐車場に限りがあり、問題なく停めることができるかどうか、一抹の不安はありましたが…。

『つくし湖駐車場』に早めに着きましたが、既に2台は着いており、他の会の車も次から次と着き、集合時間には全員が揃いました。心配していた駐車場も、幹事の事前の交渉で隣接の空き地も利用することができるようになっていました。

参加者の中には、これまでに県連で実施した海外登山に参加された人もおり、暫くぶりに元気な姿に接し、近況などを話しあうことができ嬉しかったです。『交流山行 ならではの賜物』と企画をしていただいた担当の方に感謝あるのみです。

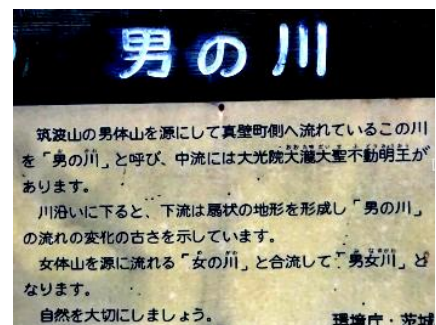
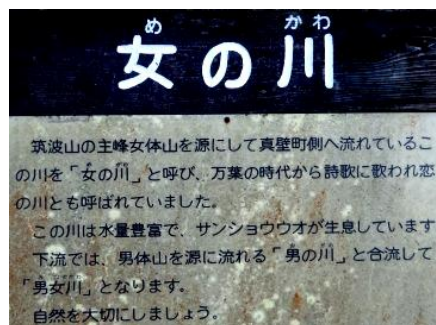
女体山山頂は、なぜか一方通行（？）になっており、その列は殆ど動かない3密。そして山頂も予想をはるかに超えるハイカーで3密。写真を撮り早々に下りました。

御幸ヶ原に着いた時には、帰りのケーブルカー乗車のための長蛇の列ができており、これを見た小さな子供連れの家族に、「歩いて下山したらどのくらいかかりますか？」と聞かれ、「ケーブルカー沿いの道で一般的には70分ほどですかね」と答えたものの、服装や足回りから見て『やまや（？）』ではないな…という印象でしたので、どのようにして下山したのか…ズーと気になりながら歩いていました。

暫くぶりに大勢での山歩きを楽しむことができました。一人の黙っての歩きとは違い、多くの人（仲間）と山を楽しめる

…ということは、嬉しいことですね。コロナ禍の中でもお互いが注意しあいながら行動すれば楽しむことができることを実感できた1日となりました。

当初予定の沢コースは荒廃していたようで、歩くことはできませんでしたが、『取り付き点』などを知ることができたので、改めて『歩いてみたい…』という思いを強くして帰路につきました。楽しみが増えました。（2020/11/20/Fri.）



裏筑波 交流山行報告

【日時・場所】 2020. 11. 15(日) 快晴 裏筑波

【参加者】 主催 かがりび山の会 参加会 ちば山(菅井 寺崎 八角) 合計 29 名

【報告】 千葉→四街道→横芝光町牛尾交差点 6:07→7:40 つくし湖駐車場

多くの方は県下から集まっているものの顔見知りのようで、始めから和気藹々とした空気。私にとっては初めての集団にもかかわらず居心地のよさを感じた。

8:10 薬王院着。境内は静かで山の会の面々のおしゃべりが響き渡っていた。正式には「椎尾山薬王院」というそう。住職さんはまだ若く 37? とか、リーダーさんとは顔見知り（下見以来の?）のようで親しく話していた。寺社はとても古い建造物で、1200 年の歴史があるとか。大木のスタジイにはびっくり。寺のまわりには何本もの巨木がどっしりと構えていた。山門に両仁王像、本堂の脇には古い三重の塔、境内には大きな梵鐘があり、何人かが打ち鳴らしていた。林道を進んで行くと「林道鬼ヶ作線」の表示板の解説には「真壁町が昭和 47 年から開設」と書いてあった。平成 15 年につくり終えたとある。

やがて 1 時間ほどで川筋に出る。伐採された杉木立や紅葉を始めた雑木林に挟まれ木々の間の小川には水はなく川底は大小の石で覆われていた。年月を感じる「男の川」の表示板には『男体山を源にする「男の川」（おのかわ）と女体山を源にする「女の川」（めのかわ）が合流して「男女川」（みなのかわ）になる』と書いてあったが、菅井さんと他会の女性とは「おかしいなあ、そんなわけない。男女川は表筑波の方で、男の川は裏筑波で合流のしようがない。」などと言っていた。15 分ばかり歩くと今度は「女の川」（めのかわ）。八角さんは「筑波は、万葉の時代から詩歌で歌われてきている。」と、万葉の世界に浸っていた。「つくば高原キャンプ場」を通り、10:00 過ぎ、小休止。また、歩きやすい山道をどんどん行く。女体山の直下に出る。この休日は天気がよく、山歩きにはもってこいの日だったので、どこかの子ども会? の集団やら他の家族連れやらの人々で、女体山頂付近は大渋滞。登頂は諦めたが、グループの何人かは並んで登ったらしい。そこから御幸ヶ原に行く狭い山道は登る人、降りる人で大渋滞。12 時前には御幸ヶ原に着き、昼食にありつけた。山頂駅前にはケーブルカーに乗る人々の長い列。

御幸ヶ原の横から少し離れた所に有名な紫峰杉や縦横微塵に枝を伸ばしたヒノキ、太い幹のミズナラがある。自然研究路を行くと馬の背のような岩、「身立岩」とか。そこから男体山山頂に行き帰路に。行きに麓から見た『坊主山』は、山頂に向かって真っ直ぐ山道が通っていた。「登ってみたいね。」と近くの人と話していたが、帰りはその道だったので嬉しくなった。

坊主山で、しばし休息。伐採されホントに坊主山だ。全面の紅葉がすばらしい。植林をした檜の苗木が根付いてはいたが、ここもいずれ檜林になるのかと思うと、ちょっと寂しい。山道をどんどん下り、薬王院の大きな石垣を横目で見ながら、崖下に生っていた小さなミカンをちょっと失敬。でも、とても酸っぱかった。16:00

つくし湖集合場所に到着。早く着いた会は帰り支度で待っていた。会に入って初めての登山だという若い男性は、思いのほか長いルートで足を引き摺っていた。嫌にならないといいのだが。

今までは筑波山登山というと、表の神社からのルートしか知らなかったが、この「裏筑波」は全く違う顔でとてもいいルートだった。（寺崎記）

県連交流山行参加報告

千葉こまくさハイキングクラブ

こまくさハイキングクラブは女性4人組での参加です。
こまくさの移動手段は公共交通機関が基本ですが、今回はコロナ禍や朝早くの集合の為、車での移動です。

ご案内していただいた、かがりびのKさんは見せたいところが沢山あるようで、気を使いながらどんどん進み次から次へと説明してくれます。平貞盛の碑を横目に見ながら行った薬王院の三重の塔、巨木スダジイの群生から始まり、裏筑波から見える山並み、樹齢数百年の松、樅、筑波詠んだ横瀬夜雨の碑、親鸞の碑、霞んで見えない霞ヶ浦や富士山等々最後に薬王院に戻って県指定文化財の山門を見る、盛り沢山の行程です。

途中女体山から始まり4つの山を縦走します。そのうちの一つ坊主山からは眼前の木が伐採されていて、加波山方向の広がる山並みは素晴らしくずっと眺めていたい時間でした。休憩含んで約8時間の歩きでしたが、行ったことのない御幸ヶ原近くの紫峰杉、松岩等今まで知らなかった場所を教えていただき、又、歌を歌いながらと秋の日の中にくっきりと見えた山並みのように色鮮やかな楽しい一日でした。

女体山、男体山は子供たちや若者でにぎわっていましたが、今回の静かなる裏筑波はぜひ仲間に案内したいと思いました。又、初めて一緒する他会の方々との交流も楽しかったです。

計画してくださった、かがりび山の会の皆様お世話になりました。

ありがとうございました。

(記) 大越幸江、川口久美子、川北紀子、海瀬典子

千葉県連交流ハイクについて

加盟会から交流の場がないとの意見が出され、理事会で交流山行の提案がありました。しかし、実施には幾つかの問題もありました。山行リーダー、参加者募集方法、山行管理等の考え方や運用は会により違いがあります。中には交流山行は必要を感じないとの会もありました。幾つかの不案点もありましたが、先ずは実施するそして修正しながら前に進む事にしました。

会山行、個人山行を「県連交流山行」として、山行場所、実施日時・集合場所を案内する。参加希望会は、リーダー会に連絡し、山行管理は会のルールで実施する。

・第1回：2018年10月3日 房総・とび岩ハイキング

君津ケルン山の会（CL）・ふわくハイキングサークル 参加者 7名

・第2回：2018年11月3・4日 奥多摩 三条の湯ハイキング

千葉こまくさハイキングクラブ、ちば山の会（CL） 参加者 7名

・第3回：2020年11月15日 茨城 筑波山ハイキング

かがりび山の会（CL）、東葛山の会、岳人あびこ、松戸山の会

山の会らんたん、千葉こまくさハイキングクラブ、ちば山の会

加盟会の交流、活動の活性化など期待は大きいですが、継続出来るかがポイントです。

—— 役員会 ——

2020 事故防止・経験交流集会 開催報告

教遭委員 伊東春正（かがりび山の会）

今年も事故の共有化・再発防止と各会交流を趣旨として、11月7日に千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所大ホールで交流会を開催した。

今回は、近場で日帰りとして多くの参加を呼びかけたが、コロナ禍の影響で参加が少なく、10会から21名の参加であった。

最初に、事故の概況報告を行った。

・事故原因別では、警察庁発表資料では道迷いが断トツトップであるが、労山ではわずか1%であることの理由を説明した。

・転倒事故防止のために、筋力とバランス力強化のための山筋ゴーゴー体操を推奨した。

・重大事故として2月に発生した凍傷事故の報告があり、個人装備（手袋）不備とパーティの行動上の問題があげられていた。

これから冬山を迎えるにあたり貴重な報告であり、各会で注意喚起していただきたい。

次に「コロナ時代の登山スタイルについて」3班に分かれてグループディスカッションを行った。

各会とも、慎重に活動再開しており、主だった意見を列挙する。

- ・例会の回数を減らしている
- ・例会場所として ソーシャルディスタンスを確保できる広い会議室の確保に苦労している。
- ・LINE、ZOOM を使ってオンライン会議を行っている
- ・電車では、集団でいくのではなく、現地集合、現地解散としている
- ・体温計を共同装備品とした
- ・計画書にコロナの注意書きを追加した
- ・月一回、貸し切りバスで山行を行っている
- ・Goto トラベルを利用して安く行っている

午後最初は、ワンダーズアドベンチャー中山代表による「エベレスト登山の魅力と厳しさ、高所登山の心構え」の講演を行った。

エベレスト登頂の経験談、エベレスト街道の紹介、高山病対策の3つの内容だった。

2月に行った海外委員会での希望する海外登山のトップが、エベレスト街道だったため、タイムリーな講演であった。

スマホ・アプリ紹介では、ジオグラフィカの使い方と気象アプリ、救急医療、コンパスなどのアプリを紹介した。

最後のフリーディスカッションでは、ハイキング・縦走、クライミング・沢、会運営・会員教育の3つのテーマに分かれて意見交換を行った。

□ハイキング・縦走（8会9名参加）

熊対策として出会いの回避と遭ってしまったときの対処法、房総ロングハイクについて、毎年同じコースではなく他コースにするとか、複数コースがあってもいいのではないか、労山基金に対しては、ゲレンデスキーも対象としてほしい要望、などが出た。

□クライミング・沢（4会6名参加）

各会とも世代交代の中で、技術継承できず指導者不足が共通の課題である。県連主催でクライミングや沢の講習会を実施してほしい要望があった。

□会運営・会員教育（4会6名参加）

会山行計画の決め方、役員選出方法、山行リーダー育成、高齢化対策などを議論したが、1時間ではとても突っ込んだ議論はできなかった。

年間71回の会山行を実施、会員をランク分け、山行リーダー資格の設定などの話が聞けた。

以上、五つの項目を駆け足で行ったため、慌ただしく消化不良気味で終えた感がある。

コロナ禍の中、各会が例会を再開していることでもあり、あえて交流会を実施したが、異議を唱える声は聞かれなかった。

交流を図るため、グループディスカッションを2回実施したが、時間設定が難しかった。議論が進まなければ1時間がながく感じられ、活発な議論となれば1時間では短い、今回は後者で時間不足であったようだ。

開催後に寄せられた参加者のアンケートと併せて、次回開催につなげていきたい。

<フリーディスカッション>

<事故事例報告：個人装備品紹介>



参加者の感想（抜粋）

□事故報告

コロナの影響か、今年度の事故報告は少なかったが、警察発表のデータと労山では事故判定の基準が違うので、道迷いが少ないことが理解できた。ただし、

道迷いがないかという、そうでもないのではないかと思います。

道に迷いそうになった事例。道迷いから脱出した事例など貴重な経験の交流もしたい。

□グループディスカッション（コロナ時代・・・）

各会の例会の仕方、連絡の取り方、山行の基準、等の話が聞けて参考になりました。

高齢の会員が多い会が多いので、それぞれしっかりと対策が取られていました。対策をした上で、貸し切りバスでの山行を行っている会もあり、禁止することより、どうしたらできるか??を考えている会も多かったようです。

□講演

これまでに、何度かパソコンで写真を見ながら、個人的にお話を聞く機会がありましたが、写真や動画を駆使してのお話しに、ますます『エベレスト街道』や『5000m峰』に行きたくなってきました。特に、動画は、臨場感があり、感動しました。

□スマホ・アプリ紹介

具体的な手順など、詳しく準備いただいております、大変参考になりました。

個人的には地形図に情報を書き込み、スマホ（GPS アプリ）は迷ったときのみ使用します。最近記録用に YAMAP を試していますが、10h の行動ではバッテリーが 5%程度まで消費します。このような点を考慮しながら、どのように活用するかも今後報告いただけるとありがたいです。

ジオグラフィック以外の山向けアプリは大変参考になりました。さっそく試して会内でも紹介したいと思います。

□フリーディスカッション

抱えている悩み（課題）は、何処の会でも同じようなものだな…と強く感じました。特に、『役員選出』、『会員の高年齢化』、『山行リーダーの養成』などですかね。会の運営をスムーズに行っていく上では、やはり役員のなり手がいないことは大きな課題だと思います。どのようにして今後のなり手を育てていくかを真剣に考えるべきと感じました（自戒を含めて）。

□全般

会場は一人一人離れて丁度良かったと思います。資料の事前送付は良かったです。参加者がパソコンから各自資料をダウンロードして持参するので良いと思います。

別件ですが県連の総会も事務所で印刷し製本して代議員に配るのは時間と労力の無駄だと思います。議案書を参加者に送り出席者が各自印刷して持参すればいいと思います。あるいはノートパソコンを持てくれば良いと思います。

いずれにしても中身の濃い一日でした。今後もこういう場所で日帰りの開催を希望します。

以上

横尾山（1818m）・瑞牆山（2230m）山行報告

岳人あびこ 室崎宏治

木のまよりもりくる月の影見れば心づくしの秋は来にけり よみ人しらず
「心づくしの秋」それらはたちまち過ぎ去ってゆくつかのまの黄金の輝きである。
それを思うたびに気がもめる。それが「心づくしの秋」である。

10月30日

柏5.45→須玉インター9.30→信州峠10.45→横尾山登山口 黄金の葉をみながら登山口に
着く 10.50⇒カヤトの原 素晴らしいカヤトの原それにしても、樹木の眩いばかりの
映える、黄色と赤と緑のコントラストこれは客体と現象の観る人によって違うのであ
うか。 明らかに表象というものが経験より先にあるものであり、表象こそは経験に対
する前提になっているからだ。非常にきびしく知覚の客体から分離しようとする表象と
いうものは、結局のところ、やっぱり経験からくるのでは無いか？素朴に考えるほど直
線的では無いだろうが、例えば感覚的な印象の似たようなグループがたび重なって繰り
返すとか、色々な感覚を証拠だてるものの間の関連だとかを通して、間接的に生まれて
くるのでは無いか？つまり対象が感覚的な印象を通して直接的に人間の魂の中に表象
を生じしめるというものだ。マルクス曰く 存在が意識を決定する。

11.500⇒横尾山 12.400⇒信州峠 14.00⇒金山山荘 14.30

黄金の葉をみながら登山口に着く

10月31日

金山山荘 5.45⇒瑞牆山山荘 6.000⇒富士見平 6.400⇒ヤナギ坂 6.450⇒瑞牆山 9.150
⇒ヤナギ坂 11.100⇒富士見平 11.30 休憩 30分 0⇒瑞牆山山荘 12.30⇒増富の湯 13.00 休
憩 90分

須玉インター 15.30→柏駅 19.30→我孫子駅 19.50：参加者 男3名、女1名、計4名
＜横尾山＞カヤトの原までは、なだらかな道と後半少し急登の樹林帯の中を進む。カヤ
トの原から前後左右に展望が広がる稜線を進む。全体的に危険箇所等のない快適なハイ
キングコースである。登山口(信州峠)に10台程駐車可

＜瑞牆山＞瑞牆山荘から富士見平小屋までは、かなりの急登、ヤナギ坂まで上がった後
沢まで降りる。その後山頂まで岩稜帯が続く。途中各種の石柱がある。山頂付近、鎖、
階段等あり確実な3点確保等十分な注意が必要。



八幡平～秋田駒ヶ岳大縦走

まつど遠足クラブ・参加者リレー感想文

2020年10月10日東京駅6:32はやぶさ1号=盛岡駅、八幡平10:00/10:30、大深山荘14:15/14:40
八瀬森小屋17:50(泊)、11日7:15曲崎山9:05/9:20 大白森13:20/13:40 鶴の湯16:10(泊)、12
日7:45 蟹場温泉9:00 乳頭山11:40/11:55 策森山13:00 湯森山14:10 秋田駒ヶ岳8合目駐車場
15:05=田沢湖駅こまち42号18:10=東京駅21:04着

「密を避ける」山活動を考えながらGWも夏の3000mも会ではやらず手近な所の「各個人山行に任せるといふ」停滞した春夏だった。鶴の湯の宿泊で、お楽しみが増え気分アゲアゲ、殆どの人が行っていない大深岳～秋田駒8合目までの空白区間を繋ぐ紅葉のロングコースにチャレンジとなりました。避難小屋泊、自炊、寝袋、重荷…初めて尽くしの人も良く頑張りました。男は辛抱、女はネバーの粘りだ！(L 西村善三郎)

諸脛(もろび)岳ではどっしり構える奥羽山脈最高峰岩手山に元気をもらう。曲崎山の急坂で振り返ると足元から広がる紅葉した山々に点在するダケカンバの白に一瞬疲れが吹き飛ぶ。大白森の広大な湿原では360度の大パノラマ。遠くに見える曲崎山を眺めながらあんな所から良く歩いてきたものだと感激する。3日目、乳頭山からの大展望紅葉を楽しみにしていたが、霧で視界はゼロ。大先輩の一言…深田久弥曰く「雨もよし、晴ればもっとよし」納得です。素晴らしい山行でした。(SL 内藤光雅)

自身4回目の東北シリーズ。今回は八幡平から鶴の湯までの大縦走！例年、天気恵まれず計画通り歩くことが出来ませんでした。今年、メインディッシュの2日間の天気がまずまずで一安心。爽やかな風？と絶景が楽しめるルート、2泊目は予約が取りにくい秘湯鶴の湯温泉の本陣泊で、テンションも上がりました。しかしここ数年、怠けて重いザックを背負ってロングコースを歩くことはなかったのか？決定的な体力不足で広がる雄大な景色を楽しむ余裕もなく、熊と遭遇しないように祈



ながら、ただただゴールを目指して歩く
歩く歩く…ツライ苦行の2日間(30km、
約64000歩)1か月分を2日で歩いた感じ
でした。1日目はまさかのビバークの危
機？2日目は体力が限界、水場が枯れて
いて飲料水不足で無事にたどり着けるの
か不安になりましたが、みなさんに助け
られやっそこさゴール！キツかったけど
思い出深い山行になりました。今度は
は、3泊4日でまったりと楽しみながら歩
きたいですね(笑) (鈴木圭子)

1日目夜行バスの密を避けて新幹線で盛岡へ。ジャンボタクシーで八幡平に到着登山開始。大深山荘で休憩、日が暮れ八瀬森小屋着。みんなで鍋を食べました。

2日目、大沢森の下りで、ホカホカの熊の大ウンチ発見(汗)。しかし大白森の草紅葉の湿原は別世界、爽やかな風が通り抜けていました。主稜線の鶴の湯分岐からの下り 2.9km がとても長く、やっと鶴の湯に到着。温泉、美味しい芋っこ汁など全て素晴らしい宿で泊まれてよかった～。3日目(足を痛めた人もいて)各グループで行動。あいにくの雨でしたが貴重な経験をしました。みんながみんなを助け、みんなと一緒になければ達成できない山行だったと思います。無事でよかった。(諸世妹フ)

奥羽山脈、八幡平から秋田駒込、充実の3日間。今は達成感と満足感で一杯です。倒れた大木を何本も跨いで越えたサバイバルな登山道、滑る石だらけの下り道、藪こぎした笹道、水に沈んだ木道、片方に傾いた木道(これ、とても危険です)、全山紅葉を見ながらの素晴らしい道、木漏れ日の中の秋、草紅葉の感動の湿原、楽しく食べた美味しい鍋、癒してくれた鶴の湯、ずぶ濡れの下山を暖かい飲み物で迎えてくれた仲間たち。沢山の素晴らしい思い出の山行でした。殿方は2つのリュックを背負ってたくましい山男達でした。助けたり励まされたりで完歩出来ました。(平田静枝)



2日目のゴール、鶴の湯本陣

大縦走の余韻に浸っていました。満足感に溺れそうです。・計画は95%達成、5%は八瀬森山荘到着時間と3日目の天気の見込みか!!・大白森小屋の水場?は。もしかして渴れていたか!?(はい、枯れていました)しかし、団結力が凄かった!! 皆さんの底知れぬ力が随所に発揮。助けていただき、忘れられない達成感で大満足でした。リーダー、サブリーダーの計画には5%は当然読まれていたことと察し致しますが…。(到着は18時頃とみていました。)(上條喜美子)

初めてだらけの山行でした。2日間のロングでの歩き。「ここまでタクシー来てくれないかな?」と弱音。日が暮れた足元も見えない中を歩く。ヘッドランプはザックの奥…すぐに出せる所に入れる!勉強になりました。(何回も言っています)皆の明



もろび 諸松岳から もっこ 畚岳を振り返る(右から いぐさ 藷草、西村娘、平田、西村、上條、鈴木、小澤)

かりで照らされ歩く。避難小屋でシェラフで寝る。疲れて知らない内に寝ていた。2日目、熊のウンコにびびって歩く。投げ出したいけど歩かなくてはどうにもならない。みんなが居てくれたからできた山行。頑張る事が嫌いだったけど、頑張るって結構、気持ちいいんだなと気がついた山行。みんなの優しさがあったからできた山行。お天気と企画した人とみんなに感謝。鶴の湯、気持ちいがったなあ～(小澤浩子)

第 36 回 房総ロングハイキング コース変更案内と募集

千葉県連ハイキング委員会

2020 年 1 月 25 日（土）、26 日（日）は雨の為残念ながら中止となりました。

2021 年改めて予定していましたが、コロナ禍が長引きそうですので多勢の宿泊、及び団体行動を慎む為にやむなく下記の様に変更する事にしました。

- ・山行日 2021 年 1 月 30 日（土）雨天の場合 31 日（日） 日帰り
- ・コース 房総海岸を歩く（浪花駅～御宿駅 歴史探訪）
- ・参加者 各会 5～6 名程度（各会で判断） 間隔開けて行動 マスク必携
- ・移動 電車利用
- ・費用 交通費 約 3,000 円（往復）＋少々
- ・当日行動予定 （往） J R 千葉駅 5 番線（後方） 7:00 集合
千葉駅 7:10 発（外房線勝浦行き） 其々乗車→浪花駅 8:29 着
（所要時間：1 時間 19 分）
（復） J R 御宿 16:04 — J R 千葉駅着 17:29 着
- ・コース 浪花駅 8:45 出発⇒八幡神社参拝 9:00/10⇒岩船港入り口⇒岩船地藏尊 9:45/55⇒釣師海岸 10:05/10⇒瓢箪池 10:20/30（オーシャントレイルコース）
尾根道⇒小浦海岸 12:00（昼食） 12:30⇒海洋生物研究所 12:40⇒ドン・ロドリゴ
上陸地見学 12:45（往復） 13:00⇒浪月の大桜⇒大浪月 13:10（往復） 13:40⇒小
浪月⇒メキシコ記念塔入り口 13:50⇒記念塔 14:10/30（オーシャントレイルコース下山）⇒岩和田海岸⇒月の砂漠海岸⇒月の砂漠象 15:00 着⇒御宿駅 15:20 着
解散 （大浪月に往復無しの場合 30 分早くなります）
- ・歩行 6 時間 35 分（休憩含む）
尚、天候、道路事情によりコースの変更あります。
- ・参加申し込み 2021 年 1 月 20 日（水）迄・ 定員になり次第締め切ります。
各会で纏めてください。



県連予定表

12月		
日付	曜日	会議・イベント
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	役員会 19:00~ @県連事務所
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	理事会 19:00~ @船橋西部公民館
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	教遭委員会 19:00~ @県連事務所
29	火	
30	水	
31	木	大晦日！来年もいいことがありますように！

1月		
日付	曜日	会議・イベント
1	金	元旦 あけましておめでとうございます
2	土	
3	日	
4	月	役員会 19:00~ @県連事務所
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	理事会 19:00~ @船橋西部公民館
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	教遭委員会 19:00~ @県連事務所
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

事故発生時の連絡先

◎事故一報は事故発生後一か月以内に！

県連教育遭対委員会

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはメール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

全国連盟事務局

ファクス： 043-271-4704（岡田）

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： https://www.cwaf.jp